

SOCIAL AND RELATIONSHIP CAPITAL

経営における社会・関係資本の位置づけ

人材育成に力を注ぎ、社会に尽くした創業者の意思を受け継ぎ、安川グループはステークホルダーの皆さまとの対話と協創を通じた良好な関係構築、価値創造に取り組んでいます。「2025年ビジョン」においても「グローバルにおける地域社会への貢献」「安川電機みらい館やロボットセンタ等を通じた次世代の技術者育成を支援」を掲げ、当社グループが操業する地域コミュニティにおける共生活動や当社製品・施設を活用した

技術者の育成支援に取り組んでいます。

また、当社グループの事業をご支援いただいているお客さまや取引先に対しては、製品の安全性・品質の確保、持続可能なサプライチェーンの構築といった観点から供給者としての責任を確実に果たすとともに、共に発展し続けられるよう信頼関係の維持向上に努めます。

中計目標のKPIと達成に向けたロードマップ

中計「Challenge 25」目標	KPI(2021年度)	2018年度実績
グローバル拠点での地域社会との共生	各拠点での地域共生活動の継続実施	各拠点での地域共生活動の継続実施 (右ページに一部事例を紹介)
安川電機みらい館の活用などを通じた次世代技術系人材の育成支援	ご来館者数 30,000 人以上/年 うち、学生来館者数 10,000 人以上/年	ご来館者数 34,329 人/年 うち、学生来館者数 10,385 人/年
製品の安全性・品質の確保	リアルタイムのグローバル品質情報の見える化	グローバルインフラの現状把握完了
持続可能なサプライチェーンの構築	主要取引先への調達方針の同意取得100%	本社と各事業部門で調達方針に関する説明会を半期ごとに実施

「地域社会との共生」へのアプローチ

本社所在地である北九州市をはじめとして、当社が工場や事業拠点を有する地域を中心に、学術研究活動や教育活動の支援、スポーツ振興による人材育成や地域活性化に貢献します。また、地域イベントへの積極的な参画や国内外のお客さまのご視察、産学官のコミュニケーションの場の提供など地域と共生・共創する社会貢献活動に取り組めます。



黒崎よさこい祭りへの参画



インドにおける「女性の経済的自立のための職業研修プログラム」への協賛

「次世代技術系人材の育成支援」へのアプローチ

ロボット村(安川電機みらい館、安川電機歴史館、ロボット工場、YASKAWAの森)をはじめ、各工場、ロボットセンタなどを活用し、当社が100年以上にわたり培ってきた「電動機(モータ)とその応用」を中心とした技術と製品に触れていただき、日々進化を続ける科学技術への関心を促すとともに、次世代のものづくりを担う人材の育成に貢献します。



スーパーサイエンスハイスクールの学生の受け入れ

「製品の安全性・品質の確保」へのアプローチ

当社グループが目指すデジタル経営の一環として、グローバルでの品質確保のため、開発から市場における品質情報を一元化し、リアルタイムにグローバルの品質情報を視える化する「クオリティ ダッシュボード」を構築します。これにより迅速な品質の確保につなげることで一歩進んだCS(お客さま満足)の向上を目指します。この実現に向け、まずはグローバル品質情報コードの統一に向けた取り組みを加速するとともに、インフラの整備を進めます。

「持続可能なサプライチェーンの構築」へのアプローチ

今後も取引を継続する取引先に対し「安川グループの調達方針」への同意と実践を要請するとともに、取引先に対する同調達方針への遵守状況の確認とフォローなどを強化していきます。また、調達活動を行う従業員に対しても、取引先に対して指導・支援できるようコンプライアンスなど重要なCSR課題について啓発を行います。